

# サッカーで 子どもたちの自由を楽しむ力を育む

福中 善久 さん 京都サンガF.C. サンガつながり隊コーチ

## サッカーは自分の意思・アイデアで動くことができるスポーツ

私が所属する京都サンガF.C.では、「サンガつながり隊」という小学校へ出向き、サッカーを題材にして、「人と人がつながっていくことの大切さ」を伝えるプロジェクトがあります。

私はそのコーチとして年間1万人の子どもたちと関わっています。このプロジェクトでは、サッカーの技術指導ではなく、「子どもの自己決定の中で、スポーツをする楽しさ」を知っていただくことを大切にしています。

今回は、サッカーが子どもたちの成長に良いと考える3つの特性をお伝えしたいと思います。

### “自由度が大きい”

サッカーはいつ攻撃や守備を行ってもよく、ピッチ内を縦横無尽に自分の判断と決断で動くことができます。状況の変化が早いので、指示がなくても自分で判断し、行動しな



ければなりません。それだけに創造性を働かせることができ、「ああしてみよう」「こう動いてみよう」と自分の意思で発想しながら行動をしていく力が身につきます。

### “たくさんの失敗があって当たり前”

サッカーはシュートやトラップなどにおいて、実にたくさんのミスが起こりやすいスポーツです。バレーボールや野球なら落球がそのまま失点につながりますが、サッカーはたくさんの小さなミスを受け入れながらゲームが進行するという特徴があります。

### “コミュニケーションのスポーツ”

次にコミュニケーション。サッカーは目まぐるしく変化する状況の中、仲間と協力しながらゴールを目指さなければなりません。そのためには長所を活かしたり、短所をカバーしたりと、「チャレンジ&カバー」が大切になってきます。

日本の子どもたちは、大人が用意したことをこなすことが多く、なかなか自分の意思で自由に行動する機会がありません。それが、誰かの指示がないと何もできない「指示待ち症候群」につながっているのではないのでしょうか？

また、「できないからムリ」「失敗したらイヤ」という理由で、何事にもチャレンジしない子どもが多いことにも問題意識を持っています。失敗を恐れている子どもに対して、関わる大人は「ノーミスでいこう!」と子どもにプレッシャーをかけ、失敗をしないように促すよりも、子どもが自らの意思で動くよ



う「待つ」ことを大切にし、失敗をしたときに、「次どのようにしたらうまくいかなかな？」と失敗から学べる関わりを大切にしてみたいのでしょうか？

そうすると、子どもたちは「ちょっとくらい失敗してもなんとかなる」「今回は失敗したから次はこうしてみよう」という気持ちで小さな失敗と成功を繰り返すことによって、チャレンジ精神がどんどん育まれていきます。

便利な世の中になり、いろんなことをひとりでできる時代になりましたが、「人と向き合い、その人について考えること」も大切にしたいものです。

サッカーでは「どんなパスを渡せば、相手は次のプレーをしやすいのか？」を考えることがとても大切ですが、それは普段「自分がこんな行動をすれば、相手がどう感じるか？」と考えることにも通じます。

「自由」「失敗」「コミュニケーション」は、サッカーの大きな特徴です。その特徴を踏まえて、子どものスポーツの場では、「自由」を与え、「失敗」から学び、「コミュニケーション」が起こる環境設定や関わりを、大人側は大切にしたいと思っています。

福中 善久 ● 大阪体育大学卒業後、YMCAで幼児～小学生を中心に様々なスポーツやキャンプ指導にあたった。また、大学生の指導者育成や高齢者スポーツなど幅広く活動。2013年からは京都サンガF.C.で未来を担う子どもたちに、スポーツを通じて「人と人がつながっていくことの大切さ」を伝える「サンガつながり隊」のコーチとして活動。地域の小学校を中心に年間1万人の子どもと関わっている。

# サマー プログラム2021

## スイミング



うまくできた！  
ハイタッチ！！



風が気持ちいい～！！

## 体操



逆上がりに  
挑戦！！



とび箱4段  
飛べたよ！

## アフタースクール



室内でもバランスボール  
やおにごっこで元気に  
遊んでいます！



みんなで力を合わせて  
火起こしに挑戦！



遠足  
@矢橋帰帆島公園  
IN 滋賀県

### 保護者 より

水が苦手なため怖がらないか心配でしたが、初日からとても楽しんでおり、明日も行きたいと言って意欲満々になってきました。宝探しゲームなど、子どもたちが水の中で楽しく遊びつつ、少しずつ泳ぐ練習が出来る様にステップアップへの工夫もされていました。最終日のテストでは、たくさんのリーダーが見守ってくださり、熱い応援をしてくださって、上から見ている親もとても嬉しく熱い気持ちになりました！水泳が上手になるだけではなく、頑張る人をみんなで応援することや、目標に向かって一生懸命に頑張るといふ事も身につけられるのではないかなと思いました。今回参加したおかげで、水に顔もつけられるようになり、潜ったり泳げるようになり、とても自信がついたようです。もっと泳げるようになりたいと子ども自ら言うようになり、参加して本当に良かったです。

## キャンプ・デイキャンプ



動物たちと触れ合い♡  
@ブルーメの丘



リトリートセンターで  
川遊び！



びわ湖で広々とした  
びのびカヌー！

### 参加者 より

キャンプには、いろんな楽しみがあります。カヌーでは息を合わせて漕ぎ、水遊びの時はグループのリーダーも含めて全員で遊び、たくさん仲間と交流します。また、みんなで創る生活空間で全員そろってご飯を食べる時も、ご飯の準備をみんなでしたり、今回はコロナで出来なかったけど席替えをしたりと、プログラム以外の時間も交流しています。年齢も性別も好きなこともみんなバラバラなのに、たくさんの出来事で仲良く、気持ちが一つになるのが好きです。毎年違う人達が集まるからこそ毎年のキャンプに色があって、プログラムも楽しみだけど、それ以上にどんな人に出会うのだろうという楽しみもありました。サバエキャンプ場でのアクティブキャンプはなくなるけれど、楽しい仲間たちと過ごす5泊6日はずっと続いてほしいです。

### 参加者 より

コロナが流行し自しゆく続きでうんざりした毎日だったので、3日間デイキャンプに参加して、本当に楽しかったです。初日のブルーメの丘に居た動物がかわいくて離れ難かった。2日目は景色が最高だったクルーズ船、竹生島で歴史に触れた島めぐりはとても勉強になりました。最終日はリトセンで飛び込みのお手本になったのが最高の思い出です。あっという間の3日間でした。将来はリーダーになってYMCAの思い出をもっと増やしたいなと思いました。できればリーダーともっと遊びたかったなあ。3日間ありがとうございました。

### 保護者 より

リーダーにルールを順守の大切さを教わり、守られた環境で楽しく過ごし、満面の笑みがこぼれる刺激的な3日間でした。デイキャンプには年少から参加しており、今回が最後の参加学年でした。今回のデイキャンプでは、グループでの異学年交流を通して、集団の大きさや学年によって、リーダーの関わり方が違うことに気が付いたようです。小さい人には怒るのではなくて教えること。集団の大きさや年齢により変化を持たせる指導法を会得したようで、今までと見える景色の違いに成長を感じた夏でした。また、リーダーの立ち振る舞いを学ぶことが自分の自信に繋がると実感したとのこと。コロナ禍での催行は皆様のご尽力無くして実現できなかったと思います。お陰様で貴重な体験と素敵な思い出作りができました。ありがとうございました。

# 地域と。あなたと。つながるYMCA

京都YMCAは、地域にお住まいの方や企業団体からのご支援によって、活動を支えられています。  
YMCAのパートナーであるワイズメンズクラブや賛助企業が、大切にしている理念や取り組みをご紹介します。

## [奉仕]京都ワイズメンズクラブ

近年、LINE、Facebook、InstagramといったSNSの普及、デジタル化やAI化といった高度情報技術の発展が目覚ましい。一方で、これまでの人間社会において大切にされてきた人と人とのふれあい、絆というものが、年々希薄になってきているように感じます。

家族、地域社会、学校、職場といった、人間が生きていく上で必ず関わり合う基礎的コミュニティが、時代とともにその形や人々のそれらに対する考え方も変容してきていると思います。特に昨年来から続く新型コロナウイルスの感染拡大により、今後ますます変容していくように思えます。

京都ワイズメンズクラブは、このような社会の変貌の中であって、京都YMCAと共に、様々な社会奉仕活動を行っており、人間が本来大切にすべき人とのつながり、絆、支え合い、等を根本的なところから学べる非常に貴重な活動を行っております。その活動の中で、近時の社会において失われつつある交流、ふれあい、支え合いの本来的な意義を見つめ直し、課題解決に対する意識を共有しながら、お互いを尊重し合い、寛容な気持ちを持ち、クラブ全体が楽しく過ごせるよう社会奉仕活動に取り組んでおります。



リトリートセンター研修棟デッキ床の改修工事



YMCAの野外活動の子どもたちと一緒に国際協力街頭募金

## [賛助会員]株式会社G-Place 代表取締役会長 山中 利一さん

株式会社G-Placeは、環境や人に優しい商品の販売やサービスの提供を事業としている、長岡京市に本社を置く創業53年の商社です。社名「G-Place」は、Growing(育つ)、Gathering(集う)、Generating(生み出す)のためのPlace(場)という意味で、「社員が仕事の中にやりがいを見出して成長し、相互に発展を目指す取引先やパートナーが集い、より良い未来を創ることに貢献する独自事業を生み出していく」という企業理念そのものを表しています。

そのような理念から、地域社会や社会貢献活動をしている団体の方々との繋がりも大事にしており、30年以上前から京都YMCA様の活動を微力ながら支援いたしております。昨年より、新型コロナウイルスの影響で、大人も子どもも日常生活が一変してしまいましたが、“どうか、未来を担う子どもたちが健やかであって欲しい！”という願いから、この度「京銀SDGs私募債『未来にエール』～次世代を担うこどもたちへ～」を通して、京都YMCA様へ体操マットを寄贈しました。

我々は、営利企業が全うなやり方で事業活動を精一杯やり、その中で得られた利益の一部を社会へ還元し、それらが、支援を必要としている人や支援活動へ循環することで、より良い未来が創られるものと考えています。より多くの企業が、公益的な考え方で社会との繋がりを持ち、企業も社会も相互に成長するような仕組みが広がるよう、我々の理念を発信し、継続的な社会貢献活動をしていく所存です。



寄贈いただいたマット



公式ホームページ <https://g-place.co.jp/>

### 連載 第1回 (全3回)

## 共に生きる 浅野 献一さん 日本キリスト教団 室町教会 牧師

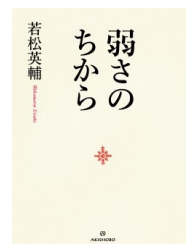
どんな時も、こころとからだを豊かに。  
聖書のことばから、現代社会をしなやかに生きていくためのヒントを見つけましょう。室町教会牧師、浅野献一さんの連載を全3回に渡って掲載します。

### 申命記7章7-8節 (新共同訳)

主が心引かれてあなたたちを選ばれたのは、あなたたちが他のどの民よりも数が多かったからではない。あなたたちは他のどの民よりも貧弱であった。ただ、あなたに対する主の愛のゆえに、あなたたちの先祖に誓われた誓いを守られたゆえに、主は力ある御手をもってあなたたちを導き出し、エジプトの王、ファラオが支配する奴隷の家から救い出されたのである。

私たちは今、困難のさなかを歩んでいます。だから“こそ”、手を結びあい、寝食を共にすることを願いつつも、それが叶わない患難の中にいます。モーセは、荒野放浪の苦難を終えた時、神の視線は「小ささ、弱さ(貧弱)」に注がれると民に神の本性をあかしました。それは、困苦の中で「弱り、小さくされている」者をこそ、「恋慕(心引かれて)」神が共にいて、回復と平安へと導いてくれる信頼の基です。

と同時に、「弱さ」(vulnerable: 若松英輔『弱さのちから』)へのまなざしは、「新しいつながり」を開く鍵でさえあると思います。それは弱者支援というよりも、私たちが「弱さ」の当事者として、自身の弱りを通じて窮乏する方と共感(com-compassion: 共苦)する過程で、共にいのちが回復される場を創造します。19世紀、産業革命の痛みの時にYMCAが誕生した出来事と重なって見えます。



若松英輔『弱さのちから』(亜紀書房、2020)  
2020年春のコロナ禍の中で、カトリックの信仰者、若松英輔さん(随筆家・詩人)が「弱さ:vulnerable」について深く思索された「いのち」に「ふれる」書。平易で読みやすく、しかし深い本書は、「コトバ」を新たにして、新しい世界を啓いてくれる希望の「ともしび」のようです。

# YouTube 動画配信はじめました

「YMCAをもっと知ってほしい!」「地域とつながるコンテンツを作りたい!」という願いから、動画配信サービスYouTubeにて京都YMCAのチャンネルを開設しました。「意外性」「おもしろさ」「一般の方にも楽しんでいただけるコンテンツ作り」をモットーに、企画動画を毎月配信していきます。すでに公開している動画もあります。みなさん、ぜひご覧ください。そして、高評価&チャンネル登録よろしくお祈いします!



## ラインナップはこちら

### ウォーターセーフティシリーズ



川遊びをしている親子に扮したリーダーが、おぼれた時の救助方法を実践!

### おすすめキャンプ飯★パスタ



キャンプ飯入門編。簡単おいしいカルボナーラとトマたまパスタ、必見です。

### 耳コピで伝わるか? チャレンジ!



翻訳アプリの音声を聞いて、ベトナム、韓国、台湾の言葉にチャレンジ。結果は果たして...



### The Last Summer Camp in SABAE

今夏、最後のキャンプシーズンを迎えるサバエ教育キャンプ場。これまでの記録を動画にしました。1948年から73年間、たくさん子ども達の出会いと体験、成長の場として、多くの人に愛されてきました。テント設営、旗揚げ、カヌー、野外料理、キャンプソングにキャンプファイヤー。サバエでキャンプをしたことがある人も、行ったことがない人も、胸が熱くなること間違いなし。ぜひご覧ください。

### 10月から開始 サタデースクール

毎週土曜日 9時~16時実施。友だちと「この世界」を考え学ぶ、アフタースクールの体験・参加型学習プログラムです。10月のテーマは「世界のおもしろスポーツ新発見!」友だちやリーダーと一緒に、自分の世界を広げよう。

#### お問い合わせ先

ウェルネスセンター075-255-4709 wellness@kyotoymca.org

### YMCA自然が子どもを元気にする#NatureForKidsプロジェクト

文部科学省「子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業」によるプログラム。生き物観察や海辺での体験他。五感で学び、体験しよう。  
※日程等要問合せ。新型コロナウイルス感染状況により実施内容変更の可能性有。

#### お問い合わせ先

ウェルネスセンター075-255-4709 campmoushikomi@kyotoymca.org

### 子どもウエルネスプログラム 後期クラス申込受付

スポーツ・自然体験学習・アフタースクール。YMCAは学ぶだけじゃない。子どもたちの世界を広げ、子どもたちの「楽しい!」「やってみたい!」の気持ちを大切にしています。

#### お問い合わせ先

ウェルネスセンター075-255-4709 wellness@kyotoymca.org



### 子ども相談室

学校のこと、家でのこと、勉強のこと、友だちのこと。お子さまのさまざまな相談をお受けしています。困りごとを整理しながら、よりよい方法を一緒に考えていきましょう。

#### お問い合わせ先

サポートプログラム事務局 075-255-4709 wellness@kyotoymca.org

### SNSで最新情報をお届け!

京都YMCAでは、SNSにて最新情報やプログラムの活動の様子を随時配信しております。ホームページやYMCANEWSに掲載されていない情報も発信していますので、是非チェック&フォローをお願いします。



### メール配信サービスのススメ

YMCANews(京都版)は、京都YMCAのメール配信サービスにも掲載しております。メール配信での購読をご希望の方は、QRコードからアクセスの上、ご登録ください。

